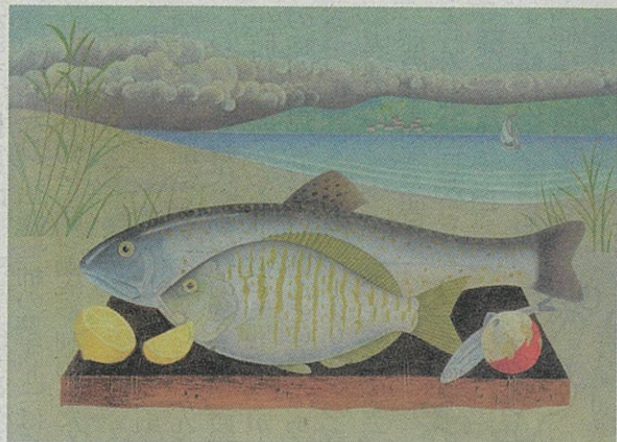


〈名画の扉〉

大川美術館企画展から

原画名：ポール・デービス
「魚のある静物」

原画制作年：1976年
板、和紙、石膏（セッコウ）、卵黄、食酢、顔料、ワニス
39・0 ㎝×28・0 ㎝



十二 芳明 (1950年)

非現実的な世界に入
り込んでしまうかの不
思議さ。すべてのもの
が静止状態に置かれて
いるようです。

米国でポップアート

十二さんは、卵黄テ

が隆盛をきわめた時代
の中にあつて、米国西
南部の自然やその地に
古くから伝わる民間伝
説、その中に生きる動
物や植物、身近な人々
の肖像を、温かなまな
ざしでとらえ、洗練さ
ざした風刺で表現したポ
ール・デービス。それ
らは彼の幼少期の原風
景や体験が源となつて
います。

本

作は、デービスが

フリーランスのイラスト

ア

（小此木）

当時、本作のほか
に、6点ほど模写したと
いふ。そこには「模写」
という行為が、画家
同士の対話の時間
が